

広域的な医療連携

栗野 仁博 議員  
(自民みらい/伊賀市選出)



問

伊賀地域の二次救急医療体制の現状は厳しく、県内だけでなく生活圏をこの地域とする隣接府県の方々にも影響を及ぼしている状況です。県単独では解決できない課題も、近隣府県と広域的に連携することにより打破できるのではないかと考えます。市町で進む近隣地域との連携の動きを、県が率先して深めることはできませんか。

答

医療提供体制の維持に、県をまたぐ広域的な取り組みも重要であると認識しています。

②二次救急医療の課題の一つである救急患者の円滑な受け入れのため、隣県と「傷病者の搬送及び受け入れの実施に関する基準」の調整に取り組むなど、引き続き隣県との広域的な連携を進め、地域医療体制の充実を図りたいと考えます。

○その他の質問事項  
○リニア中央新幹線

ほか



老朽化した堤防の防災対策

下野 幸助 議員  
(新政みえ/鈴鹿市選出)



問

県の地震被害予測によると、堤防などの海岸保全施設が機能を十分に果たした場合は、大幅に被害を軽減できるとされています。



答

堤防は、津波が越えた場合も壊れず形をとどめることで被害軽減に一定の効果を発揮します。

県内の海岸堤防は老朽化により一部に機能低下が見られることから、老朽化調査を実施し、その結果を踏まえ、平成24年度に策定予定の新地震対策行動計画の期間中を目処に集中的に対策を進めます。

○その他の質問事項  
○教育・スポーツ環境及び施設の充実

ほか

産業振興につながる企業誘致の取り組み

小林 正人 議員  
(自民みらい/鈴鹿市選出)



問

県内産業は世界同時不況以降、若干の回復は見られるものの、現在も負の連鎖が続いています。

企業誘致の推進は地域産業の振興につながると考えますが、県内には誘致されず放置されたままの工業団地が多く見られます。市町との連携や情報発信不足、企業ニーズの確かな把握がされていないことなどが懸念されますが、企業誘致の今後の対応についてお聞きします。

答

三重の認知度向上が企業誘致につながると考えており、就任直後から積極的なトップセールスや情報発信を行い、これまでに10数件の誘致につながりました。

今後、市町と連携した情報発信を行うとともに、「みえ産業振興戦略(仮称)」策定の中で効果的な支援制度の在り方や魅力的な事業環境整備について検討していきます。

○その他の質問事項  
○動物愛護問題・命のおもさ

ほか



ものづくり 中小企業の振興策

彦坂 公之 議員  
(新政みえ/鈴鹿市選出)



問

中小企業を取り巻く環境は、国内市場の低迷や円高の進展等により大変厳しいものがありますが、県内産業・経済の活力を向上させ、雇用を維持するためには、ものづくり中小企業の活性化が不可欠です。



県内中小企業の課題をどのように捉え、今後どのような振興策を講じるのか伺います。

答

中小企業は経営資源が限られ、成長に必要な研究開発や販路開拓、人材育成などに十分に取組めないなどの課題があります。

出前商談会などによる新たな事業展開や市場開拓への支援、海外展開の環境づくりや成長に必要な人材確保の新たな仕組みづくりなど、より効果の高い振興策に取り組みたいと考えます。

○その他の質問事項  
○防災力向上

ほか

文中の傍線部分については、5ページに用語解説を掲載しております。